

地域と大学 第22号

Newsletter No.22, Center for Education and Research in Lifelong Learning

「連携するなら静岡大学」「地域の発展する大学」を目指して

静岡大学理事（社会・産学連携担当）／副学長 柳澤 正

静岡大学は「自由啓発・未来創成」のビジョンを掲げて「質の高い教育と創造的な研究を推進し、社会と連携し、ともに歩む存在感のある大学」を目指し、教育・研究・社会連携の三つを大きな使命として活動しています。なかでも社会連携の使命は、静岡大学の生い立ちと密接な関係があります。本学の各学部の基礎はいずれも静岡県や地域自治体の絶大なる支援のもとに設置された学校にあり、国立大学時代さらには国立大学法人になった後も、地域と連携し社会とともに発展していく大学であることが期待されています。

本学の社会連携は、イノベーション共同研究センターや知的財産本部を核とした産学連携活動と、地域連携協働センターや生涯学習教育研究センターを中心とした地域連携活動に大別されます。しかし、今日では両活動がオーバーラップし区別することが適当でない場合も増えてきています。例えば、産学連携の関係者が自治体の都市構想の策定に参画したり、地域連携の関係者が車両補修部品の適正在庫システムの構築で企業と共同研究を実施したりしています。それゆえ、今後は地域連携と産学連携を融合した活動やそれに対応できる組織の充実が必要となっています。

ここで、いわゆる地域連携活動に焦点を絞ると、生涯学習・地域社会・行政・文化活動等に関連して大学が地域の諸組織・団体等と連携する活動が相当します。本学の地域連携活動は、公開講座、開放授業、人材育成、展示公開、専門知識提供、課題解決、国際交流等多岐に渡っており、具体的な活動は学内の様々なセンターや組織・各学部等が展開しています。大学にとって地域社会との関係は、大学の教育・研究活動の成果を発信したり還元するだけの一方向の関係（貢献）で

なく、地域社会と係わる活動を通じて教職員が新たな教育・研究のヒントを得たり学生が成長する機会となり得る双方向の関係（連携）に移行してきています。

先日（平成23年1月26日）「地域連携協働センター公開シンポジウム」が開かれ、学生の係わっている地域連携活動の事例が紹介・報告されました。参加した地域の皆様からは有意義な活動が展開されているとの一定の評価をいただきながらももっと学生のパワーを活用して活動を広げて欲しいとの要望が寄せられ、また参加学生からは学内には今まで知らなかった様々な興味深い活動があり自分も機会をみつけて何かの活動に参加してみたいとの意見がアンケートに記されていました。今後は、地域連携活動を学内外に効果的に広報するとともに、学生の意欲をうまく実践に結び付けていく仕組みが必要とされています。学生を巻き込んだ地域連携活動を展開していくことは活動の広がり活性化に繋がり、活動のなかで学生は大学での教育・研究の重要さに気づき成長していきます。

伊東学長は就任以来「勉強するなら静岡大学」「学生の成長する大学」を目指すとってきており、地域連携活動はまさに学生の成長する絶好の機会となっています。地域連携を推進する私の立場からは「連携するなら静岡大学」「地域の発展する大学」としての認知も得られるように努めてまいりますので、皆様のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。



2010年度静岡大学公開講座が終了しました

今年度の静岡大学公開講座は、5月から3月にかけて、今年度の実施結果をもとに、来年度以降の公開講座多岐にわたるテーマで実施されました。全体の実施状況のあり方に結びつけていきたいと思っております。状況は以下の表のとおりです。

講座名	講師	日時	会場	対象	実数	受講料	主催
人間力と技術力との統合 (静岡会場)	工学研究科教授 館岡康雄 工学部准教授 前田恭伸 情報基盤機構教授 井上春樹 工学研究科教授 相原憲一 工学研究科教授 上田芳伸	5/7(金)・20 (木)・6/3(木)・ 17(木)・7/2(金) 18:30～21:30	静岡市産学 交流センター B-nest	起業を目指す方、新しい価値観を考えたい方	15	3,200	工
人間力と技術力との統合 (浜松会場)	工学研究科教授 上田芳伸 工学研究科教授 相原憲一 工学部准教授 前田恭伸 情報基盤機構教授 井上春樹 工学研究科教授 館岡康雄	5/14(金)・21 (金)・6/10(木)・ 18(金)・7/9(金) 18:30～21:30	アクトシティ浜 松・研修交流 センター	起業を目指す方、新しい価値観を考えたい方	24	3,100	工
安心登山のための読図と ナビゲーションスキル(春期)	教育学部教授 村越 真 オリエンテーリング日本代表 松澤俊行 ブロードベンチャーレーサー 宮内佐季子 登山家 岩崎元郎	5/15(土) 14:00～16:30 5/16(日) 9:30～16:00	静岡キャンパス	登山・アウトドア活動を行う一般市民	23	3,000	教
浜松で日本語ボランティア ～日本語と日本語教育の基礎 知識～	国際交流センター准教授 袴田麻里 国際交流センター教授 原澤伊都夫 国際交流センター教授 熊井浩子 国際交流センター准教授 案野香子 国際交流センター非常勤講師 松葉優子 学習院大学文学部教授 金田智子	5/15・22・29・ 6/5・12・26・ 7/3・10・24・31 (土) 14:00～ 17:00	浜松キャンパ ス	地域における外国人のための日本語学習支援活動に興味がある方、そのような活動を始めたばかりの方	35	13,000	国
多文化共生社会における ヒューマン・ケア	人文社会科学研究科教授 笠井 仁 静岡県立大学短期大学部助教 天野ゆかり 人文社会科学研究科准教授 堂園俊彦 大学院法務研究科教授 藤本 亮 人文社会科学研究科准教授 竹ノ下弘久 人文社会科学研究科教授 船橋恵子	5/26・6/2・9・ 16・23・30(水) 18:30～20:30	アイセル21(葵 生涯学習セン ター)	医療や福祉に従事する方、滞日外国人のサポートに携わっているNPO関係者、教員、行政関係者、関心のある一般市民の方	28	1,700	人
仕事に活かそう エクセル統計分析の手法	地域連携協働センター特任教授 土居英二	7/10・17・24(土) 13:15～14:45	静岡市産学 交流センター B-nest	一般市民	43	1,000	地
体験!大学の化学実験	機器分析センター准教授 近藤 満 理学部助教 仁科直子	8/7(土)・8(日) 10:00～16:00	静岡キャンパス	原則として中学生以上(小学生は保護者の同伴が必要)	8	2,000	生
小学校外国語活動 スキルアップ講座Ⅲ	教育学部准教授 矢野 淳	8/20(金) 10:00～16:00	静岡キャンパス	県内小・中学校教員	4	500	実
沼津の古代遺跡を考える	人文学部教授 滝沢 誠 人文学部准教授 篠原和夫 静岡県教育委員会 菊池吉修	9/4・11・18(土) 14:00～16:00	沼津市民文化 センター	一般市民	43	2,000	生
運動習慣を身につけたい シニアのための卓球入門教室	教育学部教授 吉田和人 NPO法人卓球交流会 山田耕司	10/2(土) 13:30～16:00 10/3(日) 9:30～12:00	静岡キャンパス	おおむね50歳以上の卓球未経験の一般市民	17	3,000	教
安心登山のための読図と ナビゲーションスキル(秋 期)	教育学部教授 村越 真 オリエンテーリング日本代表 松澤俊行 ブロードベンチャーレーサー 宮内佐季子	10/23(土) 9:30～16:30	静岡キャンパス	登山・アウトドア活動を行う一般市民	29	3,000	教
バイオテクノロジー体験 ～生長点培養をしてみよう～	農学部准教授 河原林和一郎 農学部助教 浅井辰夫 農学部助教 八幡昌紀 農学部技術専門職員 増田幸直 農学部技術専門職員 西川浩二 農学部技術専門職員 成瀬博規 農学部技術職員 成瀬和子	10/30(土) 9:45～12:15	農学部附属地 域フィールド 科学教育研究 センター藤枝 フィールド	中学生以上	14	800	農

講座名	講師	日時	会場	対象	実数	受講料	主催
ノルディックウォーキング&エクササイズと里山自然体験	教育学部准教授 杉山康司 教育学部准教授 祝原 豊 教育学部技術専門職員 重岡廣男 名誉教授 中野偉夫	11/1・8・15、 3/14・28 (月)	静岡キャンパス	メディカルチェック等で 歩くことを制限されてい ない健康な方	19	10,000	教
情報学アラカルト講座 2010	情報学部教授 南 利明 情報学部教授 水野忠則 情報学部教授 湯浦克彦	11/13 (土) 10:30～12:00	浜松キャンパ ス	一般市民	59	各 500	情
家庭果樹を楽しもう!! ～果樹のせん定教室～	農学部准教授 河原林和一郎 農学部助教 浅井辰夫 農学部助教 八幡昌紀 農学部技術専門職員 増田幸直 農学部技術専門職員 西川浩二 農学部技術専門職員 成瀬博規 農学部技術職員 成瀬和子	2/26 (土) 9:00～12:00	農学部附属地 域フィールド 科学教育研究 センター藤枝 フィールド	高校生以上	9	1,500	農

[主催欄凡例]

(生)=生涯学習教育研究センター (人)=人文学部 (教)=教育学部 (農)=農学部 (情)=情報学部
(地)=地域連携協働センター (実)=教育学部附属教育実践総合センター (国)=国際交流センター

静岡大学創立60周年記念事業が終了しました

静岡大学は、2009年度に創立60周年を迎え、その記念事業として数々の催しを行いました。生涯学習教育研究センターでは、「静岡大学・読売新聞連続市民講座」「静岡大学・中日新聞連携講座」「静岡大学・コープしずおか創立60周年記念連携公開講座」を開催し、これらの講座は2010年度も継続して実施しました。

1 静岡大学・読売新聞連続市民講座「未来につなぐ、食と健康」

テーマ	回	日時	タイトル	講師	参加者
食	1	5/8 (土)	食の安全性について	杉山公男 (静岡大学農学部教授)	133
	2	6/5 (土)	発酵の仕組みと酵母の秘密	瓜谷眞裕 (静岡大学理学部教授)	135
	3	7/3 (土)	機能性食品としての緑茶～緑茶によるメタボリックシンドローム予防を中心として～	茶山和敏 (静岡大学農学部准教授)	110
	4	8/7 (土)	日本の伝統的食生活・再考	矢野敬一 (静岡大学教育学部教授)	101
健康	5	9/4 (土)	疾病予防と健康観	山本裕之 (静岡大学保健管理センター教授)	87
	6	10/2 (土)	環境ホルモンの影響	山内清志 (静岡大学理学部教授)	81
	7	11/6 (土)	いのちをめぐる倫理	松田 純 (静岡大学人文学部教授)	80
	8	12/4 (土)	アウトドア：安全に楽しく	村越 真 (静岡大学教育学部教授)	65

- ・会場：静岡市産学交流センター (B-nest) 6階プレゼンテーションルーム
- ・参加費：無料
- ・主催：静岡大学生涯学習教育研究センター、読売新聞東京本社静岡支局

2 静岡大学・中日新聞連携講座「これからの〈まち〉の姿を考える～工学&情報学の視点から～」

回	日時	タイトル	講師	参加者
1	11/13 (土)	本当のエコライフって、何だろう?～環境問題のウソ・ホントを見分けるために～	松田 智 (静岡大学工学部准教授)	54
2	12/11 (土)	超臨界・亜臨界流体がひらく新しい環境・エネルギー技術	佐古 猛 (静岡大学創造科学技術大学院教授)	50
3	1/8 (土)	ガバナンス (情報共有と合意形成) からみた平成の市町村合併	西原 純 (静岡大学情報学部教授)	45

回	日時	タイトル	講師	参加者
4	2/12(土)	経営情報学からモノづくりのまち・浜松を考える	田中宏和(静岡大学情報学部教授)	50
5	3/5(土)	東海地震について考えるための防災ゲーム	前田恭伸(静岡大学工学部准教授)	36

- ・会場：[第1回] 静岡大学浜松キャンパス総合研究棟3階31 講義室
[第2回～5回] TKP浜松カンファレンスステーション 会議室1 (浜松駅ビル「MAY ONE」4階)
- ・参加費：無料
- ・主催：静岡大学地域連携協働センター、静岡大学生涯学習教育研究センター、中日新聞東海本社

3 静岡大学・コープしずおか連携講座「自分らしく生きる～豊かなライフスタイルに向けて～」

回	日時	タイトル	講師	会場	参加者
1	7/3(土)	健康と運動～いくつになっても自分のことは自分でやる～	中野美恵子(静岡大学教育学部教授)	静岡市産学交流センター(B-nest) 6階プレゼンテーションルーム	41
2	8/28(土)	食品化学の世界～安全・安心な食品とは～	衛藤英男(静岡大学農学部教授)		42
3	10/2(土)	環境問題のウソ・ホント～自分の頭で考えよう!～	松田 智(静岡大学工学部准教授)		45
4	12/18(土)	グリーンコンシューマーを目指して～地球環境も家計も守る～	佐藤エイ子(しずおか市消費者協会)		26
特別講座1	11/9(火)	清沢塾 棚田 稲刈り体験		清沢塾	16
特別講座2	1/29(土)	食と農を考える	中井弘和(静岡大学名誉教授・棚田再生プロジェクト清沢塾塾長)	コープ富士中島店	9
特別講座3	2/5(土)	非栄養素の栄養学～食物繊維の多様な機能～	森田達也(静岡大学農学部教授)	コープ小豆餅店	15
特別講座4	3/5(土)	①食品科学の世界～安全・安心な食品とは～ ②キノコの化学・科学～菌類の栄養・薬効を探る～	①衛藤英男(静岡大学農学部教授) ②河岸洋和(静岡大学創造科学技術大学院・農学部教授)	三島商工会議所	16
特別講座5	3/12(土)	泳げる佐鳴湖を取り戻そう～アメニティ佐鳴湖プロジェクト～	戸田三津夫(静岡大学工学部准教授)	コープさんじの店	17

- ・参加費：200円(資料代)
- ・主催：静岡大学、コープしずおか

4 静岡大学創立60周年記念公開シンポジウムⅡ「それはいかに実現されたのか？」

回	日時	タイトル	パネリスト	参加者
2	4/24(土)	今、戦争と平和について考える	山本義彦(静岡大学名誉教授) 高橋洋児(静岡大学名誉教授)	37
3	6/26(土)	食べること、生きること～未来の食と農の姿～	佐藤洋一郎(総合地球環境学研究所副所長) 川口由一(農家・自然農提唱者) 中井弘和(静岡大学名誉教授)	72
4	8/28(土)	科学とテクノロジーが辿る道	荒川 紘(静岡大学名誉教授・愛知東邦大学教授) 荒木信幸(静岡大学名誉教授・静岡理工科大学学長) 天岸祥光(静岡大学名誉教授) 石川勝利(静岡大学名誉教授)	30
5	10/30(土)	教育・福祉・地域づくり～よりよく生きるために～	小櫻義明(静岡大学名誉教授) 角替弘志(静岡大学名誉教授・常葉学園大学学長) 石井正春(静岡大学名誉教授)	20
6	12/18(土)	いま、再び<いのち>を考える	石川憲彦(林試の森クリニック院長) 松田 純(静岡大学人文学部教授) 田島靖則(日本福音ルーテル教会雪ヶ谷教会牧師)	44

- ・会場：静岡市産学交流センター (B-nest) 6階プレゼンテーションルーム
- ・コーディネーター：中井弘和(静岡大学名誉教授)
- ・参加費：無料

2010年度下半期（10月～3月）の事業報告

主催事業

公開セミナー

「学んで楽しい！～大学で学ぼう～」

知的障害のある人が、学校卒業後も生涯学習の機会を持ち、より豊かな人生を送ることができることを目的に、「学んで楽しい！」と題する公開セミナーを実施しました。知的障害のある人にとっても、学び続ける機会があることで、社会参加の幅が広がり、人生をより豊かにすることができます。大学のキャンパスを学びの場にしようという趣旨の企画です。ボランティアの方々も含めたくさんの方々に参加いただきました。

- ・日時：2010年10月17日（日）9:15～12:15
- ・プログラム：
 - ①「アイスブレイク～学びのなかま～」講師：大畑智里（静岡大学教育学部附属特別支援学校教諭、学校心理士）
 - ②「日本の食文化を知ろう！」講師：新井映子（静岡県立大学食品栄養学部教授）
 - ③「世界の人と「こんにちは！」」講師：案野香子（静岡大学国際交流センター准教授）
- ・参加者数：116人（うち学生36人、教職員その他34人）
- ・会場：静岡大学学生会館ホール
- ・参加者：静岡県の知的障害養護学校等卒業の社会人（18歳以上）、県立特別支援学校等の教員、青年学級等の関係者・保護者、静岡大学教育学部特別支援教育（障害児教育）専攻の学生、静岡県知的障害者就労研究会会員など



- ・企画：静岡県障害者就労研究会

サイエンスカフェ in 富士（しずだい飛ぶ教室）

「ケイ素の有機化学～生活に役立つシリコンの科学～」



地域への大学開放事業の一つとして、静岡大学関係の教職員が出前講演等を行う「しずだい飛ぶ教室」の一環として実施したもので、富士市教育委員会の仲介により実現の運びとなりました。

今回は、「ケイ素の有機化学～生活に役立つシリコンの科学～」というテーマで、理学部教授の坂本健吉先生による出前講演を行いました。

「サイエンスカフェ」の文字通り、喫茶店を会場にしたため、コーヒーを片手にくつろいだ雰囲気の中で最先端の科学に接する機会となりました。岩石の主成分である「ケイ素」と、生物を形作っている「炭素」を組み合わせて生まれた「有機ケイ素化合物」。その代表がシリコンです。

月に着陸したアポロ11号の飛行士が履いていた月面靴から、長時間装着型のコンタクトレンズ、歯の型取り、鍋の落とし蓋にいたるまで、いろいろなところで使われているシリコンの科学について、実験や実演を交えながら楽しく学びました。

- ・日時：2010年12月1日（火）18:00～19:40
- ・会場：ウインストンカフェ [富士市吉原2-10-19 ラクロス吉原1F]
- ・講師：坂本健吉（静岡大学理学部教授）
- ・参加費：500円（ドリンク・クッキー付）
- ・参加者数：37人
- ・主催：静岡大学
- ・共催：富士市教育委員会

公開シンポジウム

「学習ネットワークと生涯学習⑬」

「学習ネットワークと生涯学習」をテーマに実施する公開シンポジウムも、今回で13回目を数えました。今回は、第13回の今回は、情報ネットワークを活用した学習—交流支援システム、市民対象の大学教育プログラムにおけるeラーニングシステムなどを取り上げながら、生涯学習のための学習ネットワーク構築の可能性を検討しました。

なお、このシンポジウムの内容の詳細については、当センターが発行する研究紀要で別途報告する予定です。

- ・日時：2011年2月1日（火）14:25～15:55
- ・会場：静岡大学共通教育A棟301教室
- ・プログラム：
 - ①「主体的に学ぶ子どもの育成を目指した、「子どもの「学びの場」充実事業」について～「ふじのくにゆうゆうnet」と「ゆうゆうポイントラリー」の取組を例に～」報告者：工藤陽明（静岡県総合教育センター生涯学習推進室指導主事）
 - ②「社会人学び直しニーズ対応教育プログラムと大学eラーニングシステム」報告者：徳山真治（静岡大学農学部准教授）
- ・コーディネーター：菅野文彦（静岡大学教育学部教授）
- ・参加費：無料
- ・参加者数：78人

共催事業

博物館フォーラム

「博物館活動と学芸員資格～現場の声を聞く～」

博物館の業務は、主に学芸員資格を有する専門職員によって担われています。ところが、資格を取得しても実際に博物館に就職できる割合はごくわずかで、学芸員資格を生かせるような仕事に就くのはきわめて厳しい状況にあります。

一方、専門職としての学芸員だけではなく、一般事務として採用され博物館に



配属されている場合や、学校の教員が指導主事のような形で博物館に派遣されている場合など、現実には、さまざまな形で学芸員資格が活かされ、博物館を支えています。

今回は、静岡大学で学芸員資格を取得し、さまざまな形で博物館と関わりを持ちながら仕事をしている人々をお招きして、どのような経緯で就職し、現在どのような仕事をしているのか等、現場からの声を交えながら、多様な博物館との関わり方を探りました。

なお、このシンポジウムの内容の詳細については、当センターが発行する研究紀要で別途報告する予定です。

- ・日時：2011年2月3日（木）12:45～14:15
 - ・会場：静岡大学共通教育A棟301教室
 - ・プログラム：
 - ①「これまでのキャリアと博物館との関わりについて」報告：織田一平（丸岡町文化振興事業団）
 - ②「大学で学んだことを、美術館でどう生かすか」報告：安岡真理（静岡市美術館）
 - ・コーディネーター：金子 淳（静岡大学生涯学習教育研究センター准教授）
 - ・参加費：無料
 - ・対象：学芸員取得希望学生および関心のある学生、一般市民、博物館関係者、学芸員課程関係職員
 - ・参加者数：119人
 - ・主催：静岡大学生涯学習教育研究センター、静岡大学大学教育センター
- ※本フォーラムは、大学生の就業力育成支援事業の一環として実施した。

生涯学習指導者研修事業

「公民館の現状と可能性を考える」

静岡県内の公民館活動などを通して、生涯学習事業を展開している生涯学習指導者への教育研究情報の提供と大学とのネットワークづくりを進めるとともに、指導者の資質の向上をはかることを目的に、静岡県公民館連絡協議会との連携事業として実施するものです。

公民館を取り巻く環境は近年大きく変化し、社会教育・生涯学習の場として、これまで以上に地域の住民・機関・団体との連携・協働が求められています。地域の学びを広げる様々な取り組み事例に学び、また公民館が直面している課題と地域からの期待を探りながら、公民館の現状と可能性を検討しました。

- ・日時：2011年2月9日（水）10:30～16:00
- ・会場：島田市立金谷公民館（金谷生涯学習センター「みんくる」内）
- ・プログラム：
 - ①基調講演「地域（まち）が学びの場となるために」講師：弓削幸恵・村上 敏（まちなびや（学区のお宝さがしプロジェクト））
 - ②事例報告
 - ・「こどもの講座とボランティア」報告者：青島敏文（焼津市焼津公民館長）
 - ・「人づくり・地域づくりの拠点として「住んで良かった！」と言える地域を目指す」報告者：絹村和弘（磐田市南御厨公民館長）
 - ・「「おやじの井戸端」講座～団塊世代の生きがいづくり～」報告者：山本明美（島田市金谷公民館嘱託職員）
 - ・「生涯学習センターへの期待～静岡市民への意識調査から～」報告者：望月雄司（静岡市葵生涯学習センター事業担当係長）
 - ・「県内公民館・生涯学習施設への調査結果報告」報告者：静岡大学教育学部生涯学習専攻学生
 - ・「生涯学習特別研究（卒業研究）報告」報告者：常葉学園大学教育学部生涯学習学科学生
 - ③パネルディスカッション
 - パネリスト：事例報告者
 - コメンテーター：猿田真嗣（常葉学園大学教育学部教授）
 - コーディネーター：菅野文彦（静岡大学教育学部教授）
- ・参加者数：101人
- ・参加費：無料
- ・主催：静岡県公民館連絡協議会、静岡大学生涯学習教育研究センター

企画協力事業

静岡市・大学連携事業 市民大学リレー講座 「お茶に注目！」

- ・日時：2010年10月9日～11月20日 [全3回] 13:30～15:00
- ・プログラム：
 - ①10/9（土）「茶文化の起り」講師：埋田重夫（静岡大学人文学部教授）
 - ②11/13（土）「緑茶は脳にとっても良いらしい」講師：横越英彦（静岡県立大学食品栄養科学部教授）

- ③11/20（土）「お茶の建築と景観」講師：土屋和男（常葉学園大学造形学部准教授）
- ・参加費：無料
- ・会場：静岡市産学交流センター（B-nest）
- ・主催：静岡英和学院大学、静岡県立大学、静岡大学、常葉学園大学、静岡市
- ・企画協力：静岡大学生涯学習教育研究センター

吉田町特別講座 「静岡と近代化」

- ・日時：2010年11月4日～12月9日までの毎週木曜日 [全6回] 19:30～21:00
- ・会場：吉田町中央公民館
- ・プログラム：
 - ①11/4「静岡県の地域性と経済社会の歴史」講師：山本義彦（静岡大学名誉教授）
 - ②11/11「グローバル化の下でのこれからの地域経済社会」講師：山本義彦
 - ③11/18「静岡県の近代文化の地域的特性」講師：上利博規（静岡大学人文学部教授）
 - ④11/25「これからの静岡の文化」講師：上利博規
 - ⑤12/2「静岡県の移民・外国人住民と多文化共生」講師：竹ノ下弘久（静岡大学人文学部准教授）
 - ⑥12/9「青年の教育と就労」講師：荻野達史（静岡大学人文学部准教授）
- ・参加費：3,000円
- ・主催：吉田町教育委員会
- ・企画協力：静岡大学生涯学習教育研究センター

地域連携協働センター公開シンポジウム「地域と大学を結ぶ～教育・研究・地域連携の融合をめざして～」

地域と大学の連携・協働の取り組みにおいて、教職員だけでなく学生たちが大きな役割を果たしています。教職員と学生がともにかかわる地域との連携・協働はまた、キャンパスにおける教育・研究を活性化し、深めているようです。今回のシンポジウムでは、教職員・学生が市民とともに地域の課題に取り組んだ



事例を紹介しながら、これからの地域連携のあり方を考えました。

- ・日時：2011年1月26日（水）17:45～20:00
- ・会場：〔浜松会場〕静岡大学浜松キャンパス総合研究棟24、〔静岡会場〕静岡大学静岡キャンパス共通教育A棟301教室※遠隔テレビシステムで2会場を結んで実施。

・プログラム：

(1) 事例報告

- ①「アメニティ佐鳴湖プロジェクトについて」報告：戸田三津夫（静岡大学工学部准教授）、鈴木孝志（静岡大学工学部4年）
〔地域から〕高橋邦武（浜松市富塚地区自治会連合会長）
- ②「情報学部地域連携推進室の活動」報告：岡田安功（静岡大学情報学部教授・地域連携室長）、静岡大学情報学部学生
〔地域から〕土屋英二（浜松商工会議所）
- ③「プロジェクト型授業における地域連携・協働」報告：小二田誠二（静岡大学人文学部教授）、平野雅彦（静岡大学人文学部客員教授）、吉野亜湖（静岡大学非常勤講師）、秋枝伶子（静岡大学人文学部3年）
〔地域から〕新名隆大（テレビ静岡制作部）、吉本

邦弘（足久保ティーワークス）

(2) パネルディスカッション

コーディネーター：満井義政（静岡大学地域連携協働センター特任教授）

- ・参加者数：187人
（内訳）〔浜松会場〕学生46人、一般30人
〔静岡会場〕学生106人、一般5人
- ・参加費：無料
- ・主催：静岡大学地域連携協働センター
- ・企画協力：静岡大学生涯学習教育研究センター

市民開放授業

静岡大学市民開放授業は、静岡大学の学生が受講している正規の科目を、一般市民の方に開放するものです。単位の認定はありませんが、入試なし、受講資格不要、簡単な手続きで受講できます。正規学生と一緒に受講していただきますので、若い世代の学生と交流を持ちながら学ぶことができます。

2010年度の開講場所別の開講科目数・受講者数の状況は下表のとおりです。

開講科目数			受講者数		
前期	後期	合計	前期	後期	合計
243	250	493	118	99	217

生涯学習教育研究センター運営委員会

当センターには、「生涯学習教育研究センター運営委員会」が組織されています。当センターの運営や組織について審議するとともに、全学公開講座の企画・立案・実施に関しても審議します。静岡大学の教員により組織され、定期的に審議をおこなっています。

運営委員名簿（2010年度）

- 阿部 耕也 センター長・センター専任教員・教授
- 小西 潤子 副センター長・教育学部准教授
- 金子 淳 センター専任教員・准教授
- 遠山 弘徳 人文学部教授
- 藤井 基貴 教育学部准教授
- 小暮 悟 情報学部講師
- 小山 晃 理学部教授
- 梅本 宏信 工学部教授
- 竹之内裕文 農学部教授

- 木下 治久 電子工学研究所准教授
- 須藤 智 大学教育センター講師

生涯学習教育研究センターでは、学内の公開講座情報、大学開放事業などを掲載し、広報します。各種情報を当センターまでお寄せください。
URL <http://www.Lc.shizuoka.ac.jp/>

地域と大学 第22号

静岡大学生涯学習教育研究センター情報誌

発行日——2011年3月25日

発行——静岡大学生涯学習教育研究センター

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
（理学部B棟1階）

TEL: 054-238-4817（資料室・受付）

FAX: 054-238-4295

E-mail: LLC@ipc.shizuoka.ac.jp

（事務局）学術情報部研究協力・情報チーム TEL:054-238-4317